



桑名市教育委員会イメージ  
キャラクター「くわっぼ」

# かわら版

NO. 13



## 多度地区小中一貫校整備事業

### 学校施設検討会・環境検討会を開催しました

かわら版No. 12では、第2回地域協議会(7/11)として名古屋市立大学鈴木教授による講演会を開催したことをお伝えしましたが、その後、7月22日と9月23日に学校施設検討会、7月28日と8月28日に環境検討会を開催しました。

第1回学校施設検討会(7/22)では、講演会の内容をうけて、『今までの学校施設という概念を一旦崩し、これからの学校教育に必要な施設・設備や、子どもたち・働く教職員にとってもよりよい教育環境になるものを考えていこう』『夏休みを利用して、多度地区のすべての教職員対象にアンケート(右図)をとろう』となりました。また、第2回学校施設検討会(9/23)では、アンケートの意見を集約し、『教職員が必要と考える施設・設備及びどう活用したいか・どのような効果が期待できるのか』としてまとめていただきました。

多度地区小中一貫校 施設・設備等に関するアンケート <一部>  
【 】小・中学校、役職名【 】、学校現場経験年数【 】

	施設・設備等	どう活用したいか・どのような効果が期待できるか
1 児童生徒・先生の交流を生む施設・設備	①異学年交流スペース・屋内(多目的ホール) ②異学年交流スペース・屋外 ③児童会・生徒会室 ④ランチルーム ⑤小中合同職員室 ⑥教師ステーション ⑦小さな空間 ⑧その他	
2 教育活動充実のための施設・設備	①メディアセンター ②英語教室 ③オープンスペース・成長段階に合わせた学習・生活スペース ④和室 ⑤屋外運動スペース ⑥その他	
3 全員の理	①通級指導教室 ②その他	

第1回環境検討会(7/28)では、3つのグループに分かれてグループトークを行い、4小学校 1 中学校で現在行われている様々な教育活動を出し合い、共通認識していただきました。

環境検討会の様子

それらを基に、第2回環境検討会(8/28)では、『地域が協力することで教育的効果が得られる活動』を軸に、一貫校になったときどのような活動ができると良いのか、また、活動のねらいや大切にしたいことなどを熱心に話し合っただき、当初予定していた開催回数を1回増やし、9月30日にも開催することとなりました。第3回環境検討会(9/30)では、地域とのつながりにおいて必要な施設・設備についてより深く話し合っています。

なお、両検討会の内容については、検討会代表より10月18日の第3回地域協議会に報告します。



## 保護者の方々と懇話会を開催しました

8月5日・19日に、未就学施設の保護者代表の方々と懇話会を開催しました。子育て真最中の皆様に、まずは、『現在の学校教育』について、子どもたちの外国語活動やICT教育の様子をお伝えし、加えて、小中一貫教育とは、『義務教育の9年間を小中で区切るのではなく、子どもたちにあった教育課程で育てていくこと』『小学校・中学校の先生たちがそれぞれのノウハウを活かし、協力して教育に当たるということ』をご説明しました。保護者の皆様からは、「一貫校になると児童生徒数が増えるので、登下校の安全を確保していただきたい」など、子どもたちの安心・安全を切望するご意見をいただきました。また、9月5日には、私立保育園の保護者会役員の方々と懇話会を行い、学童保育や通学路等についてのご意見をいただきました。

8月27日には、小中学校各校のPTA会長・副会長の方々と懇話会を開催し、この会では、「小中一貫校事業の進捗状況や今後の用地取得のスケジュールが知りたい」「新しくできる学校施設や複合施設を知りたい」「施設一体型小中一貫校だからできる『小中一貫教育』について知りたい」等のご意見をいただきました。

現在、コロナ禍の中で、多人数の保護者を集めての懇話会の開催は難しいと感じており、そのため、まずは保護者代表の方々から様々な思いを聞かせていただきました。なお、懇話会等でいただいたご意見については、地域協議会の中で情報共有し、今後につなげていきたいと思っております。



## 10月の予定

10月18日（日） 第3回地域協議会

10月24日（土） 小中一貫教育講演会

対象：未就学児・小学生・中学生の保護者

講師 元広島県呉市立蒲刈中学校長 二宮肇美氏

演題 (仮)「小中一貫教育って何？」

「小中一貫教育になるとこれまでと何が違うの？」

\*保護者の方以外で、参加をご希望の方は、  
10月16日（金）までに【事務担当】まで  
ご連絡ください。

10月下旬 地権者の皆様への用地取得に向けた説明会

\*傍聴不可

